

無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する調査研究
 持続可能なまちづくりと無形文化遺産

第一回 国際シンポジウム (2023年2月1-2日、奈良)

プログラム

日時：2023年2月1日(水)

会場：奈良文化財研究所 2F 大会議室

時間	内容
10:30	開会
10:30 - 10:45	開会挨拶 IRCI 所長 岩本 渉 文部科学省 国際統括官付 国際戦略企画官 白井 俊 ユネスコ北京事務所 文化担当官 Duong Bich Hanh
10:45 - 11:30	基調講演 奈良文化財研究所長 本中 眞
11:30 - 11:40	Q & A
セッション 1: IRCI 事業「持続可能なまちづくりと無形文化遺産」の取り組み	
11:40 - 11:50	開催の趣旨説明
11:50 - 12:10	カンボジア：無形文化遺産の SDGs への貢献-アンコールプロジェクト：伝統工芸とくらし Sokrithy Im (Mr) APSARA National Authority (ANA)
12:10 - 12:30	フィジー：伝統的竹籠作りに不可欠な資源管理と伝統的集落景観の維持 Emosi Caniogo (Mr) iTaukei Institute of Languages and Culture (TILC)
12:30 - 13:30	昼食
13:30 - 13:50	マレーシア：建築遺産保護と無形文化遺産保護との関係：ジョージタウンでの事例研究 Ming Chee Ang (Ms) George Town World Heritage Incorporated (GTWHI)
セッション 2: アジア太平洋各地の事例報告	
13:50 - 14:10	バヌアツ：世界遺産、首長ロイ・マタの領地のコミュニティ中心の保護・管理 Meredith Wilson (Ms) Heritage consultant, オーストラリア Christopher Ballard (Mr)

	College of Asia and the Pacific, The Australian National University (ANU), オーストラリア
14:10 - 14:30	タジキスタン：文化・自然遺産に関連する無形文化遺産の研究 Dilshod Rahimi (Mr) The ICH Center, The Research Institute of Culture and Information of the Ministry of Culture (RICI)、タジキスタン
14:30 - 14:50	ネパール：「ネパールの伝統工芸と職人の居住文化」にみる歴史都市の持続性に対する無形文化遺産の役割 Lata Shakya (Ms) 立命館大学 歴史都市防災研究所、日本
14:50 - 15:10	フィリピン：世界遺産コルディララ棚田における米づくりと儀式 Marlon M. Martin (Mr) Save the Ifugao Terraces Movement (SITMo), フィリピン
15:10 - 15:30	日本：無形遺産と文化インフラとしての景観・環境との相関 ～日本・アイヌ民族が進める IWOR 構想の場合～ 吉原 秀喜 平取町役場アイヌ施策推進課、日本
15:30 - 15:40	休憩
15:40 - 16:40	総合討論
16:40 - 16:45	閉会挨拶 ACCU 教育協力部長 大安 喜一
16:45	閉会

エクスカーション

日時：2023年2月2日(木)

場所：奈良国立博物館 講堂

時間	内容
10:00	開会
10:00 - 10:10	開催の趣旨説明
10:10 - 12:10	奈良新しい学び旅による講義 奈良の文化遺産を活用した新しい SDGs 学習プログラムのあり方
12:10 - 13:30	昼食
13:30 - 14:30	奈良国立博物館見学
15:00 -	自由時間

奈良は、現存する最古の木造建築を含む多くの神社仏閣を有する古い都である。このエクスカーションは、参加者に午前中の講義、奈良国立博物館の見学、午後からは歴史あふれる奈良のまちを自由に探索することで、奈良における文化遺産を活用した新しいまちづくりについて学ぶ機会を提供する。